

製品名: DNA pol ϵ A ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10059**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	POLE
別名	POLE; POLE1; DNA polymerase epsilon catalytic subunit A; DNA polymerase II subunit A
遺伝子 ID	5426.0
SwissProt ID	Q07864
免疫原	抗血清はヒト POLE1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1261-1310

背景

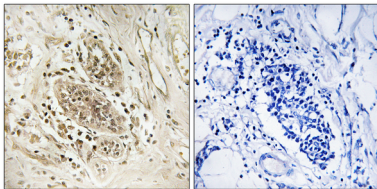
DNA ポリメラーゼ ϵ 触媒サブユニット (POLE) ホモ・サピエンス この遺伝子は DNA ポリメラーゼ ϵ の触媒サブユニットをコードしています。この酵素は DNA 修復と染色体 DNA 複製に関与しています。この遺伝子の変異は、大腸がん 12、顔面異形症、免疫不全、

皮斑、低身長との関連が報告されています。 [RefSeq 提供、2013年9月],触媒活性: デオキシヌクレオシド三リン酸 + DNA(n) = ニリン酸 + DNA(n+1),ドメイン: DNA ポリメラーゼ活性ドメインはタンパク質の N 末端側に存在し、C 末端はサブユニット B と C の複合体形成に必要である。C 末端は酵素の触媒活性も制御する可能性がある。機能: DNA 修復および染色体 DNA 複製に関与する。PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。類似性: DNA ポリメラーゼ B ファミリーに属する。サブユニット: 2つのサブユニット (258 kDa と 55 kDa) から構成される。RAD17 および TOPBP1 と相互作用する。

研究分野

プリン代謝、ピリミジン代謝、DNA 複製、塩基除去修復、ヌクレオチド除去修復

画像データ



POLE1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。